

IEC/TC108/HBSDT会議より

51 回目となる、IEC/TC108/HBSDT会議が2025年9月16-17日（2日間）及びIEC/TC108/Plenary会議が2025年9月18日にデリー（インド）にて開催されました。当初は対面のみの会議として案内されていましたが、最終的にはWeb会議とのハイブリッドとなり、多くの国や地域から40名（対面での参加は22名）参加があり、活発な審議が行われましたので、その報告をいたします。

【IEC/TC108/HBSDT会議】

IEC/TC108では所管する規格の解釈等に関し、次の事項に関する審議がありました。会議で合意を得たものは今後IECEEのWebに掲載される予定としています。

- ・プロフェッショナル機器のサービス又はメンテナンス時において、過熱した部分に触れる必要がある場合の（保護手袋の使用などに関する）要求事項の明確化。

- ・IEC62368-1の適用範囲は定格電圧600 V 以下となっているが、新しい直流主電源電圧の導入を考え、交流電圧600Vとそれに相当する直流電圧850Vとする解釈は、審議を継続する。

- ・CPU（プロセッサ）に取り付けられるポリマー製の固定具は「デバイス」ではなく「部品」として扱い、難燃性要求を除外する規定を適用できることとする。

IEC/TC108/HBSDTではIEC 62368-1第4版の改正作業に取り掛かっています。以前の会議から継続して審議している案件も含め多くの改正提案等がありましたので、その一部を報告します。

- ・機器のエンクロージャと防火用エンクロージャとの関係を示す例を追加する提案を規格解釈の文書として発行する。また、IEC/TR 62368-2（IEC 62368-1の要求根拠等を示す文書）に対する提案を求める。

- ・携帯用音楽プレーヤから出力される音圧に関する事項に関し、アドホックグループから、主に次の事項に関して今後に審議を進めるとの中間報告があった。

- (1) SPL（現在の規定にある代替方法）の削除、
- (2) Bluetooth接続への対応、
- (3) 100% CSD（許容可能な暴露量の最大値）での警告後の音量低下のタイミング。

- ・ヒューズによる電力制限を行う際の扱いに関して、PS2となる分類は100Wに変更することが採用された。また、現行の最新版（第4版）での扱いを明確にするため、現在審議中であるAmendmentに含めることについて、各国の意見を聞くこととした。

- ・コイン型電池を収納するための蓋がネジで固定されている場合においてトルク試験が規定されているが、電池交換のみに特化したトルクの値ではないため、

それに特化した提案文書を作成することとした。

- ・Annex J（介在絶縁物なしで用いる絶縁巻線）で参照している規格IEC 60851-3:2009を最新規格IEC60851-3:2023に変更する提案は採用された。

- ・Annex F.3.3.1（主電源に直接接続する機器）および F.3.3.2（主電源に直接接続しない機器）のタイトルでは“equipment”が使われているが、本文では“unit”が使われており、用語が一致していないことから“equipment”に統一する提案が採用された。

- ・F.3.3.2（主電源に直接接続しない機器）では主電源にのみ定格表示が必要と読めるが、F.3.3.7（複数の電源接続をもつ機器）では複数の電源（主電源及び非主電源）がある場合においては、それぞれ定格表示が要求されると読めるため、このような複数の電源の場合であっても主電源にのみに必要とする提案は採用された。

- ・電圧切替え用スイッチに対して、スイッチの要求事項であるG.1.2項（スイッチ、要求事項）をいくつか変更して適用すべきとの提案は、アドホックグループを設けて審議することとした。

- ・適用範囲となる機器の定格電圧に関し、現行の600Vを越えない機器から、1000V ACまたは1500V DCを越えない機器に変更する提案は、アドホックグループを設けて審議することとした。

- ・量子コンピュータの構成要素の多くはIEC 62368-1、IEC 61010-1で対応可能であるが、極低温・真空・加圧・酸素濃度変化などの特殊な危険性については、IEC 62368-1に新たな分類や試験方法の追加が必要かもしれないため、メンバーを募り検討することとした。

- ・耐電圧試験前の温度処理を不要とする提案は、耐電圧試験を行うタイミングが複数あることから、それを特定すべきとのコメントがあり、提案者に、詳細を示した新たな提案を求めることとした。

- ・DC主電源を考慮するため、主電源過渡電圧を示した表12を改定する提案は継続審議とした。

- ・FIWの使用は過電圧カテゴリI、IIに限られているが、IIIにおいても使用できるとする提案は、その趣旨が採用されたが、潜在的な影響を考慮すべきとのコメントがあった。

IEC/TC108/HBSDT会議より

報告事項として次の事項の紹介等がありました。

- IEC /TR62368-2は2025年7月に発行されている。
- IEC 62911 については commented version (CMV: 旧版からの変更理由を説明したもの) を作成中である。
- IEC TR 62102の改正審議を2026年に開始する。
- IEC 63315は、そのCDVを2025年10月に回付する。
- IEC 63316は、ITU文書の著作権についての確認作業が必要である。

【IEC/TC108/Plenary会議】

IEC/TC108/Plenary会議では、IEC/TC108の運営に関する事項審議、及び傘下のWGの活動報告が行われた。この会議において次の事項について合意等がありました。

- 2022年10月に米国カリフォルニア州サンフランシスコで開催された会議の議事録 108/795/RM は、回覧後4週間コメントが無く自動的に確認されたことが確認された。
- IEC 中央事務局からのTCの運営に関わる事項等の情報が提供された。
- TC 108 議長、副議長、および幹事からの報告があった。TC 108/HBSDT にてIEC 62102 の改訂版プロジェクトとしてメンテナンスを開始することに合意した。
- PT 63315、PT 63316、WG5、WG HBSDT のリーダーの再確認を行いそれに合意した。
- IEC62911のCMV の発行をもって MT 62911 を解散することで合意した。
- IEC 63315のタイトルを次のフェーズで修正 (「Audio/video, information and communication technology equipment」の記載を削除) することを合意した。
- IEC 63316のタイトルを規格発行前に修正 (「Audio/video, information and communication technology equipment」の記載を削除) することを合意した。

• ウェブサイトに掲載されているTC 108の作業計画およびプロジェクト計画の見直しと更新について合意した。

• オーストリアとルーマニアは会議に参加しておらず、専門家もいないことから、IEC事務局は両国にPメンバーとしての義務を改めて通知する書簡を送付することに合意した。

• Stability dates (規格を変更しないとする期間) の見直しを行い、その内容に合意した。

• TC108とのリエゾンに関する確認が行われた。

• TC108のStrategic Business Plan (戦略的ビジネスプラン) に関して審議を行い、その内容に合意を得た。

• 次回のIEC/TC108/Plenary会議は2027年シンガポールでの開催を予定した。

【今後の予定】

次回 (2026年春) のIEC/TC108/HBSDT 会議は高松 (日本) で開催することを予定しました。

2026年秋はハンブルグで開催されるIEC General Meetingと合わせてIEC/TC108/HBSDTを開催する予定としています。

【お問い合わせ先】

(一財) 電気安全環境研究所
電気製品安全センター
E-mail: center@jet.or.jp

